

# 行政の窓

## 北海道における平成22年木材・木材製品の貿易動向について

### 【我が国の木材貿易】

林野庁「2010年木材輸入実績」によると、我が国の木材輸入額は、紙・板紙類、パルプを除き、9,160億円（前年比113%）となりました。

国別輸入額は、中国からの輸入が最も多く1,312億円（前年比104%）、次いでマレーシアが1,029億円（前年比107%）で、主要輸入先国（輸入額上位10カ国）のすべてで輸入額が増加しました。

品目別輸入量及び輸入額をみると、丸太が476万m<sup>3</sup>（前年比115%）880億円（前年比115%）、製材は642万m<sup>3</sup>（前年比115%）2,018億円（前年比114%）と、丸太、製材ともに輸入が増加しています。

### 【ロシア丸太輸出税引き上げの影響】

ロシアの針葉樹丸太輸出税の80%への引き上げは、ロシアの国内事情等により3年連続延期になりました。平成22年の北洋材丸太の輸入額は4億円（前年比54%）と大きく落ち込みました。

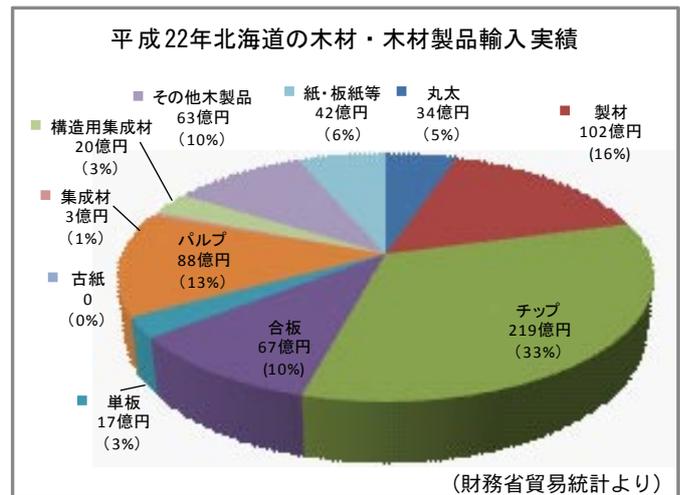
### 【北海道の木材貿易】

平成22年の北海道の木材・木材製品輸入実績は、紙・板紙類や木材製品を含めて656億円（前年比111%）となっており、品目別にはチップが33%を占め219億円（前年比107%）、製材102億円（113%）、合板67億円（前年比124%）と、大半の品目で増加し、減少した品目は、丸太34億円（前年比91%）と紙・板紙等42億円（前年比94%）になっています。

### 【北海道の丸太輸入】

丸太輸入量は減少傾向が続いており、平成22年は128千m<sup>3</sup>（前年比89%）となりましたが、平成22年上半年は前年同期比111%でした。

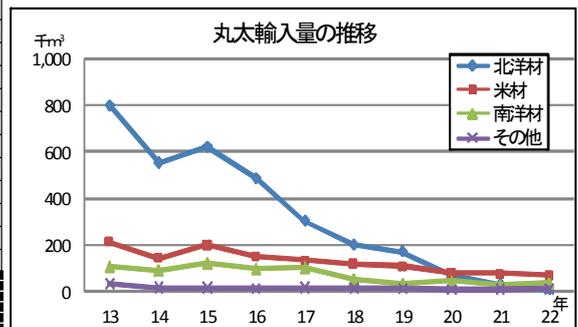
北洋材の輸入量は、10千m<sup>3</sup>（前年比31%）と減少しましたが、平成22年上半年は前年同期比157%と増加しています。一方、米材の輸入量は、70千m<sup>3</sup>（前年比92%）と若干減少しましたが、南洋材は前年比140%と増加しています。



### ○ 北海道の丸太輸入量

(単位：千m<sup>3</sup>)

年	北洋材	米材	南洋材	その他	合計
13	799	213	108	33	1,153
14	554	144	93	18	809
15	622	198	123	18	961
16	488	150	99	15	752
17	305	133	103	17	558
18	200	118	53	16	387
19	171	107	33	16	327
20	75	79	42	10	206
21	32	76	25	11	144
22	10	70	35	13	128
(H22/H21)	31%	92%	140%	118%	89%
(22上半期)	7	43	17	9	76
(23上半期)	11	46	14	13	84
(H23/H22)	157%	107%	82%	144%	111%



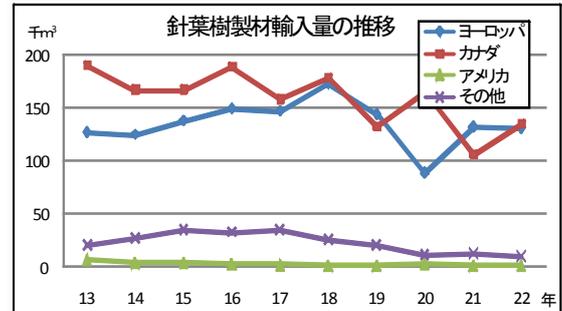
【 針葉樹製材の輸入 】

針葉樹製材の輸入量は、平成 22 年は 277 千 m<sup>3</sup>（前年比 110%）、平成 22 年上半期は 153m<sup>3</sup>（前年同期比 113%）となりました。

国別にみると、カナダからの輸入が増加（前年比 127 %）しましたが、フィンランドなどのヨーロッパからの輸入は前年並でした。

○ 針葉樹製材輸入量 (単位：千m<sup>3</sup>)

年	ヨーロッパ	カナダ	アメリカ	その他	合計
13	127	190	7	56	345
14	125	167	4	27	323
15	138	167	4	35	344
16	149	189	3	33	374
17	147	158	2	35	342
18	173	178	1	26	378
19	144	132	1	21	298
20	89	165	3	11	268
21	132	106	1	13	252
22	131	135	1	10	277
(H22/H21)	99%	127%	100%	77%	110%
22上半期	56	73	1	5	135
23上半期	67	78	1	7	153
(H23/H22)	120%	107%	100%	140%	113%

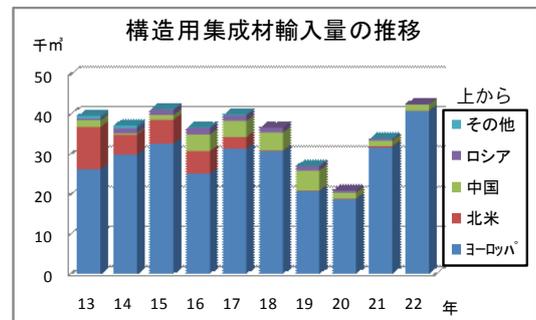


○ ヨーロッパ主要国別輸入量 (単位：千m<sup>3</sup>)

年	スウェーデン	フィンランド	オーストリア	ルーマニア	他ヨーロッパ	合計
21	12	47	36	23	14	132
22	7	40	43	28	13	131
(H22/H21)	58%	85%	119%	122%	93%	99%
22上半期	3	16	18	15	4	56
23上半期	6	26	22	7	6	67
(H23/H22)	200%	163%	122%	47%	150%	120%

【 構造用集成材の輸入 】

構造用集成材の輸入量は、平成 19 年、平成 20 年と大きく減少しましたが、平成 22 年は 43 千 m<sup>3</sup>（前年比 126%）となっており、アメリカ（前年比 44%）とロシア（前年比 23%）からは大きく減っているものの、昨年同様、ヨーロッパからの輸入（前年比 129%）が、ヨーロッパ経済の混迷や円高ユーロ安等の影響で増えています。



○ 構造用集成材輸入量 (単位：m<sup>3</sup>)

年	ヨーロッパ	内 フィンランド	カナダ	アメリカ	中国	ロシア	その他	合計
13	26,243	7,909	8,832	1,727	1,688	447	677	39,614
14	29,847	4,868	3,402	1,634	296	1,300	663	37,142
15	32,637	15,736	4,695	1,283	1,177	1,373	26	41,191
16	25,170	14,510	4,778	816	4,206	1,559	88	36,617
17	31,392	18,549	2,761	135	4,050	1,390	214	39,942
18	30,750	24,145	68	102	4,513	1,212	0	36,645
19	20,737	15,530	68	157	5,037	1,117	0	27,048
20	18,702	13,586	0	171	1,456	574	0	20,903
21	31,716	23,557	0	296	1,400	436	0	33,848
22	40,769	23,038	0	129	1,529	102	0	42,529
(H22/H21)	129%	98%	-	44%	109%	23%	-	126%
22上半期	14,787	8,229	0	41	567	49	0	15,444
23上半期	18,674	7,457	0	88	1,314	52	0	20,156
(H23/H22)	126%	91%	-	215%	232%	106%	-	131%

(水産林務部林務局 林業木材課 木材産業グループ)